



灯台と銚電 提供：石井 哲也 会員

第2462回 例会 令和5年9月12日

点 鐘 … 飯田 貴之 会長

ロータリーソング … 我等の生業

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会長挨拶 … 飯田 貴之 会長

御祝披露 … 飯田 貴之 会長

誕生祝 … なし

結婚記念日 … 飯田 貴之 会員(9月11日)

入会記念日 … なし

幹事報告 … 大木 啓嗣 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

クラブ協議会

第3回定例理事会 (例会終了後)

出席報告 … 出席・プログラム委員会

9月19日(火) 休会

次回のプログラム (令和5年9月26日)

移動例会「観月会」

犬吠埼ホテル

受付 18:00 点鐘 18:30



CREATE HOPE
in the WORLD

CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度 RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

第2461回例会(令和5年9月5日)

会長挨拶

飯田 貴之

本日は、関東大震災についてお話させていただきます。
関東大震災は、1923年9月1日に相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9の大地震が発生したことにより、首都圏や周辺地域に甚大な被害をもたらした歴史的な災害です。死者・行方不明者は約10万5000人、全半潰・消失・流出・埋没の被害を受けた住家は総計37万棟にのぼりました。また、地震発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災に拡大しました。

関東大震災は、日本の災害史において特筆すべき災害であり、その発生日である9月1日が「防災の日」と定められています。関東大震災からの教訓や記憶を継承し、一人ひとりの防災意識の向上を図ることが重要です。

2023年は、関東大震災から100年目を迎える節目の年となります。この機会に、改めて防災について考え、備えたいです。

関東大震災についての詩

関東大震災

あの日 あの時 あの場所で
地球が揺れた 空が割れた
火が燃えた 水が溢れた
人々は叫んだ 泣いた 走った

あの日 あの時 あの場所で
家族が散った 友達が消えた
夢が壊れた 希望が埋もれた
人々は嘆いた 怒った 悲しんだ

あの日 あの時 あの場所で
命が救われた 助け合った
支え合った 立ち上がった
人々は笑った 感謝した 前を向いた

今日 今 この場所で
地震が起きるかもしれない
火災が起きるかもしれない
津波が起きるかもしれない
人々は備えるべきだ 学ぶべきだ 伝えるべきだ

今日 今 この場所で
関東大震災を忘れない
関東大震災から学ぶ
関東大震災の記憶を継承する
人々は強くなるだろう 賢くなるだろう 優しくなるだろう

経営者100の言葉

「60点主義で即決せよ。決断はタイムリーになせ」
土光敏夫(経団連名誉会長)

幹事報告

- ガバナー事務所より
 - 管理運営セミナーご案内
 - 財団室NEWS 2023年9月号
 - 2023年9月 | 基本的教育と識字率向上月間
 - 地区大会パンフレット 広告協賛の依頼 受領
- 例会変更のお知らせ

八日市場RCより

9/12(火) 点鐘 18:30 「ささもと」 夜間移動例会

9/19(火) 休会 定款により

9/26(火) 点鐘 12:00 「匠瑤市商工会館」

ローターアクトをお招きしての避難所
運営ゲーム開催の為 受領

銚子RCより

9/27(水) 点鐘 18:00 「太陽の里」 観月会の為 受領

☆会報受領 佐原RC 銚子RC

卓話

「3人の恩師と人生の指針」

銚子警察署 署長 高山 善和 氏

皆様こんにちは
銚子警察署長の高山です。諸先輩方の前で、私の話をする等恐れ多い事ではありますが、卓話のご依頼を賜りましたので、20分程度のお話をさせていただきます。



1 自己紹介

昭和42年3月3日生 年齢56歳

家族 4人家族と愛犬1匹(妻、長女、長男、ヨークシャテリア雌)

現在は、春日町の公舎に単身赴任をしております。

経歴 平成元年4月 警察官拝命

勤続35年 刑事警察20年(警察学校教官、捜査第一課、科捜研等)

趣味 剣道、スキー、映画鑑賞等

2 本日のテーマ

3人の恩師と人生の指針

① 最初の恩師

地元の剣友会で小学校1年から剣道を始めました。小学校の体育館で週に2回稽古をし、体育館が使用できない時は、保育園の園庭や遊歩道で稽古をやった事もあり、良い思い出でした。

当時、指導して頂いた最初の恩師は、故・A先生(教士七段)という方で、剣道のほかに油絵が非常に上手でとても温厚な先生でありました。A先生の指導は、基本のみです。試合で使う応じ技等は教えて頂いた記憶はありません。勝っても負けても、いつもニコニコしている先生でした。

稽古の最初と最後に唱和を行っていました。この言葉は、現在でも私の人生の指針になっています。

どんな言葉か、ご紹介致しますと、

- 剣は、心なり
- 剣は、礼をもって始まり、礼をもって終わる
- 剣は、先あるのみ

子供の頃は、言葉の意味がわかりませんでした。年齢を重ねるにつれ、この言葉の意味がわかるようになりました。先生は、勝負の拘りはありませんでしたが、剣道を通じて子供たちを人間的に大きく成長させたいという思いがあり、この言葉を唱和させていたのではないかと推察しますが、先生は既に他界され確認はできません。

私なりの解釈ですが、この言葉の説明をさせていただきます。

まず、「剣は心なり」ですが、心が正しければ、剣も正しくなる。逆も然りです。日常に置き換えれば、「心が正しければ、行動等も正しくなる」ということであります。

次に「剣は、礼をもって…」ですが、剣道は相手がいるもの。相手に対し、敬意と感謝の気持ちを持つということです。日常に置き換えれば、どんな立場の人に対しても、敬意と感謝をもって接する。人は一人で生きているのではなく、いろいろな人と関係を持ちながら生活をしています。ハラスメントや人間関係の悪化、いじめ等が社会問題になる昨今、特に気を付けたいことであります。

最後に「剣は、先あるのみ」です。先つまり、攻めであります。剣道に限らず、どんな競技においても攻める気持ちが大切であります。日常に置き換えれば、何事も積極的に行動しなさいという事です。行動を起こす前から気持ちで負けていては、何も起こりません。例え、失敗することがあってもチャレンジする攻めの気持ちが大切であり成功への鍵となるということであります。

剣道の修業は、剣の理法の修練を通じて人間形成に繋がっていく道であると言われております。亡き恩師、A先生の教えが今の私の基本ベースであり、人生の指針になっています。

② 二人目の恩師は、高校時代の剣道部監督、B先生（教士七段）であります。

B先生は、A先生とは真逆で勝負にとことん拘る恩師です。B先生には、高校時代と44歳になってからと二度に渡り、剣道の指導を受け、私の人生に大きな影響を与えて下さった恩師でもあります。

私は、先ほど説明したとおり小学校から剣道を始めましたが、中学校に剣道部はなく、高校から本格的に剣道を教わりました。高校時代の先輩は強く、稽古も非常にハードでした。入学当時、1年生は10人以上おり、猛者ぞろいでしたが、夏合宿前には1年生は3人になっていました。私は当時、体重50キロ以下で細身でしたので、一番始めに辞めるだろうと言われていましたが、最後まで残っていました。

入学してから試合で使ってもらえることはありませんでしたが、2年生にあがる頃、私にもチャンスが回ってきました。小さな大会の5人制の試合で、次鋒で出場することになりました。しかし、極度の緊張で2本負けをしてしまい、チームも負けてしまったのです。緊張していたとはいえ、自身のメンタルの弱さを痛感しました。以来、試合で使ってもらうことはありませんでした。スポーツの世界等では、「悔いを残すな」等言われますが、私の場合、悔いが残るというよりも、自分からあきらめてしまった部分もありました。高校剣道部での中途半端な思いは、警察官になってからも頭から離れずにいましたが、剣道は好きだったので続けていました。

時が経ち、私が44歳になった時、仕事では本部の刑事部捜査第一課に異動になりました。当時、階級は警部でしたが、私自身これまで本部経験がなく、周囲に圧倒され、仕事に自信が持てず悩んでいた時期でもありました。

そんな頃、息子が中学校に入学し、本格的に剣道を始める頃であり、親子で指導を受けられる道場はないかと考えていたところ、恩師であるB先生が教員を定年退職して道場をやっていたため、思い切って連絡を取り、息子とともに指導を受けることで了解を頂いたのです。44歳にして再

び恩師の道場に通うことになったのです。

約30年ぶりにB先生に稽古を付けて頂き、高校生の時と同じような緊張感で稽古をしました。構えているだけで息が上がり、毎回道場の隅に追い込まれる日々でありました。

毎回、反省をしました。なぜ、下がるのか、なぜ打っていけないのか、当然技術の差はあります。しかし、根本的なところは、心の弱さであること、気持ちで負けていることだったのです。高校時代の中途半端だったこと、気持ちで負けた日々ばかりであったこと。今も仕事に自信が持てず、積極性がでないこと。いずれも全て共通する自身の弱点だという事が剣道の稽古を通じて分かったのです。

剣道も仕事も気持ちで負けていては駄目だ。自身の弱点を克服するためにここで稽古している。逃げては駄目だ。考えを改めました。それから自分に課した課題は、絶対に下がるな。当たらずとも攻め返し、全力で立ち向かうと決め、以来、誰よりも先に面を付け、B先生には常に一番で掛かりました。

入館して2年が経過した頃、七段審査が受けられる時期になりました。剣道七段への最後のチャレンジでありましたが、先生との稽古の甲斐もあり、一発で合格することができました。

剣道が上達すると並行して、仕事についても充実してきました。捜査一課では約9年間勤務し、重要事件を解決して数々の表彰を受けることができ、警視にも承認させて頂きました。

息子も周囲の刺激を受け、メキメキと上達し、高校、大学でも剣道を続け現在は警視庁に入庁しました。先日刑事試験に合格した旨の連絡を受け、親としてはうれしい限りであります。私も息子も、B先生に鍛えて頂いたことが、ターニングポイントになったと思っております。

③ 3人目の恩師は、C先生（剣道範士八段）です。

先生は、84歳と高齢ですが、現在も大学剣道部の指導者として週3回、学生相手に稽古をつけ、自身の道場でも元に立ち、剣道をやっております。毎年京都の武徳典で開始される演武大会にも範士の部で出場し、見事な立会いをしております。正に生涯剣道を貫いておられる先生であります。

C先生との出逢いは、私が高校1年生の時、実家で経営する喫茶店に先生がお客さんとして来て頂いたことが出逢いでありました。以来、常連客としてお店に来て頂き、私は先生が来店の際に店に呼ばれ、先生から色々な話を聞かされてきました。

先生は、千葉県県警の剣道特別練習生、いわゆる「特練員」でした。高校1年から剣道を始め、千葉県警の剣道師範になられた方です。自慢話はほとんどしない先生です。話すことと言えば、自分が負けた試合のこと等、人の悪口は言わず、悩んでいる人に手を差し伸べる優しい先生です。

剣道は一流で、立ち姿、構え、打突は真っ直ぐで美しく、全国の剣士がC先生の指導を受けるべく、松戸市にある先生の道場に通っています。

素晴らしい先生ですが、若い時は悔しい思いや苦勞をしたことを先生から直接伺っておりました。

特練員のほとんどは、機動隊に所属してほぼ毎日剣道の稽古をしますが、先生は違っていました。先生は、警察学校卒業後に松戸東警察署に配属され、稽古場所である千葉市内の道場に通う「通い特練員」という形でした。

剣道特練員である傍ら鑑識、検視等の警察官としての仕

事をしながら、剣道特錬員として剣道の稽古に励んでいたそうです。そんな形での特錬員ですから、若い時は試合の出場機会はあまりなかったそうです。現役を引退され、指導者となり、松戸市内に松風館という道場を開き、その傍ら松戸東警察署のタッチング活動で子供達の剣道指導を熱心に行っていました。

私が出会った時は、先生が現役を引退され指導者としてやっていた頃でしたので、私が高校の剣道部でレギュラーになれず、健明に剣道に打ち込む姿が先生の若い時と重なったのか、よく気に掛けて頂きました。

警察間になることを進めて下さったのも、C先生でした。警察学校を卒業して、機動隊へ着任する際も予め赴任地に電話して下さいましたのもC先生でした。なんの取り柄のない私を息子のように可愛がって頂き、先生に何とか恩返ししなければという思いで頑張っていた部分もありました。

銚子警察署長に着任が決まった際、C先生にすぐに連絡をしました。先生は、凄く喜んで頂いて、先生ご自身が銚子市剣道連盟の方や知人の方に電話して頂き、私が銚子市に早く馴染めるよう配慮して下さいました。

C先生には、本当に感謝しております。

C先生の道場訓は、恩四謝（おんにしゃす）であります。感謝の気持ちを忘れないという意味が込められているものであります。

4つの恩

- 1 父母の恩
- 2 国の恩（師の恩）
- 3 衆生の恩（多くの人々）
- 4 仏法僧の恩（誠、真理）

今の自分があるのは、両親を始め様々な方々に支えられてのことです。

C先生には、もう一つ恩返しをしなければならないことがあります。それは、来年11月に剣道八段審査に初チャレンジしますが、八段審査に合格することです。

剣道八段の受審資格は、年齢46歳以上、七段取得から10年の修業を経ていることが条件であります。全国の剣道人口が約180万人、そのうち八段取得者は全国で764人。今年5月京都で行われた剣道八段審査は、1665名が受審し、合格者14名（合格率0.8%）でした。合格率1%に満たない難関中の難関の審査であります。高い目標ですが、自身のため、恩師への恩返しのために頑張っていきたいと思っております。

剣豪、宮本武蔵の五輪の書でこんな言葉があります。

千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす。

千日というのは、3年です。技の習得には、3年がかかる。万日というのは、30年です。習得した技を練り上げて、本

当の技にしていくには30年かかるということでもあります。

道を究めていくというのは、容易いものではありません。しかし、どんな道でも日々の努力が大切であり、継続して努力していくことが重要であります。剣の道にしても、仕事にしても共通して言えることだと思います。

結びに、恩師の先生方に教えていただいた全ての事を胸に、警察官として全力で仕事に向き合い、さらに剣道修業でも努力精進を重ね、充実した人生を謳歌し、私自身も後進を導き育てていきたいと思っております。

ご清聴ありがとうございます。

——ニコニコ——

第2790地区ガバナーノミニー 時田清次様

クラブを廻り学ばせていただいています。今後共よろしくお願い致します。

網中吉郎君

時田ガバナーノミニーようこそいらっしゃいました。ご訪問ありがとうございます。

9月8日（金）のドローン教室は台風の為、中止となりました。後日改めて開催致します。

前回の例会（9/5）報告

点 鐘 飯田 貴之 会長

出席報告

会員総数	28 名	出席規定除外数	3 名
出席者	17 名	出席率	65.38 %
8月22日		確定出席率	80.77 %

来訪ロータリアン

第2790地区ガバナーノミニー 時田清次氏
(市原中央RC)

欠席者 9名

メイクアップ なし

スモールコイン BOX	小 計 ￥ 1,470-
	累 計 ￥ 14,140-
ニコニコBOX	小 計 ￥ 10,000-
	累 計 ￥ 90,000-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 飯田貴之 副会長 石毛園子 幹事 大木啓嗣

クラブ広報・会報委員会 藤崎一成・杉浦 武・宮内 博

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。